

## 「自動車運転評価に関する調査」のお願い

脳卒中になられた方が自動車運転を再開されようとする時に、麻痺や注意力がどのような状態まで回復していれば安全運転が可能であるかは明らかになっていません。この問題を調査するため、井野辺病院で自動車運転リハビリを行われた方を対象に調査を行いたいと考えております。

### 1、調査内容

以下の2点に該当する方のデータを対象に調査を行います。

- ① 2006年1月から2016年4月までの間に、当院にて自動車運転リハビリを受けられた方。
- ② その内、自動車学校にて実車運転の練習を行った方。

調査は自動車運転評価を実施した患者様の情報をまとめた資料「自動車運転評価の結果」より情報を収集したいと考えております。本データは実車運転評価を行った対象者のカルテより、対象者の認知機能・運動機能・実車運転評価結果等を抽出してID番号にて管理を行っている資料です。本資料より個人名や住所等、個人が特定される事はありません。

調査は井野辺病院カルテ保管庫で研究責任者が行います。資料より以下の必要情報を書き写したのち、パスワードのかかるパソコンへ入力しデータ管理を行います。

- 一般情報  
年齢、性別、病名、障害半球、発症から自動車運転評価実施までの期間
- 認知機能検査結果  
注意・記憶など、入院中に実施した検査結果の数値
- 運動機能  
麻痺の状態
- 実車運転評価結果  
問題の見られた運転技能、最終結果（運転可否）、再開後の事故・違反の有無

### 2、負担について

本調査にあたって対象者の方への金銭的・時間的負担は生じません。

### 3、不利益・利益について

本調査によって、対象者の方へ不利益が生じる事はございません。直接利益となる事はありませんが同様の病気の方が自動車運転を再開したいと希望された場合に、調査結果を役立てた支援を行いたいと考えております。

### 4、個人情報保護について

本調査において、氏名・住所など個人が特定される情報は収集を行いません。あらかじめ匿名化された資料(ID番号によって個人情報と切り離された)を用いる事で個人が特定されることが無いように扱います。

研究終了後は、得られた情報は破棄いたします。紙の資料に関してはシュレッダーにて破棄を行い、パソコンデータに関してはデータ消去ソフトを用いて復元不可能な状態に消去いたします。

### 5、調査内容の公表について

調査内容は全体データとしてまとめ、個人が特定できない形にした上で学会や学術雑誌への公表を予定しております。研究目的外への利用は行いません。

調査対象に該当される方で詳しい説明をご希望される方や、調査を控えた方が良い方がおられましたら、研究責任者 加藤貴志までご連絡ください。調査を控えた方が良い場合には速やかに該当データを削除いたします。

どのようなご連絡であっても、その後当院での受診や診察・リハビリテーション等いかなる診療行為においても不利益が生じる事はございません。

2016年8月30日作成

研究責任者：大分県立看護科学大学大学院博士課程後期 加藤貴志

研究計画名：「脳損傷者の実車運転技能を予測可能な検査について」

研究期間：2016年6月1日～2017年3月31日

連絡先：097-586-5522